

東京2020大会に向けた取組状況について

サイバーセキュリティ基本法に基づく「サイバーセキュリティ戦略」に基づき、大会の運営に大きな影響を及ぼし得る重要サービス事業者等を対象とした**リスクマネジメントの促進**や、関係府省庁、大会組織委員会、東京都等を含めた関係組織と、サイバーセキュリティに係る脅威・事案情報の共有等を担う中核的組織としてのサイバーセキュリティ対処調整センターの運用等、**対処態勢の整備**を推進中。これらの仕組み、運用経験及びノウハウを、我が国の持続的なサイバーセキュリティの強化に活用できるよう、今後、**大会に向けて推進している取組の評価等を実施**。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大及び大会の延期に伴い生じる環境変化や新たな事象・リスク等を踏まえ、**必要な見直しを実施**。

リスクマネジメントの促進

- **取組状況**
手順書を作成するとともに、東京大会において開催・運営に影響を与える重要サービス事業者等を選定し、リスクの低減と最新のリスクへの対応のため、2016年度から**リスクアセスメント**の実施を依頼。実施結果について横断的に分析し各事業者等にフィードバック。2020年11月より第6回目の取組を開始した。
また、競技会場に提供されるサービスの重要度に応じて対象事業者等を選定の上、サイバーセキュリティ対策の実施状況をNISCが検証する**横断的リスク評価**を2019年度末までに計3回実施。2020年9月より前年度までに対象とした重要サービス事業者等（会場(レガシー部分)を含む。）に対するフォローアップを開始した。
- **今後の取組**
リスクアセスメントの取組については、第6回の取組として、大会延期や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う**環境変化を踏まえたリスクの見直し**、残留リスクが顕在化した場合の対応体制の強化を2021年1月末まで促進。さらに、提出されたリスクアセスメント結果を分析し各事業者等に個別にフィードバックを実施し必要に応じ助言を行う。
横断的リスク評価の取組については、重要サービス事業者等（会場(レガシー部分)を含む。）に加え、東京大会組織委員会に対するフォローアップを実施するとともに、第4回の取組として、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う情勢の変化を踏まえた対応を実施予定

対処態勢の整備（サイバーセキュリティ対処調整センターの運用等）

- **取組状況**
情報共有システムを構築し、2019年4月に設置した**サイバーセキュリティ対処調整センター**から**情報共有システム**を使用した恒常的な関係組織・機関への迅速な情報提供を実施するとともに、情報共有及びインシデント発生時の対処に係る**訓練・演習**を重ねている。情報セキュリティ関係機関等の協力により観測活動を実施するとともに、サイバー脅威情報の提供について5社から協力を受けている。
また、2019年度は、大会までの大規模イベント（G20大阪サミット等関係閣僚会合、ラグビーワールドカップ等）において運用を実施し多くの教訓を得た。その結果を踏まえ、情報共有及びインシデント発生時の態勢について関係府省庁、大会組織委員会、東京都等と協議して決定した**対応手順等**について改善を実施した。
- **今後の取組**
新型コロナウイルスの感染拡大に伴う情勢の変化(テレワークの普及・大会運営の変更等)及び**大会が1年延期となったことで新たに発生・判明する事象等**を踏まえた関係組織・機関への**情報提供**の継続と**訓練・演習**の積み重ねにより、大会関係組織間の緊密な連絡調整を図るための態勢を強化するとともにインシデント対処能力を向上する。これにより、大会に向けて万全の対処態勢を目指す。

リスクマネジメントの促進のための取組の概要

● リスクアセスメントの取組

サイバー攻撃等による東京2020大会の準備・運営への影響の未然防止や軽減等のため、大会を支える周辺サービスを提供する事業者等によるリスクマネジメントの強化を通じ、想定されるサイバーセキュリティ上のリスクへの対策を促進。

第6回の取組では、大会延期や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う環境変化を踏まえたリスクの見直しに加え、要対応リスクに対する対策の網羅的な検討及び残留リスクが顕在化した場合の対応体制の強化を促進していく。

○ リスクマネジメントの促進のため、サイバーセキュリティリスクを特定・分析・評価する手順をNISCで作成

○ 大会の準備・運営に影響に与える重要サービス分野から、重要サービス事業者等を関連する所管省庁と調整の上で選定

重要サービス分野 + 会場（競技会場及び非競技会場）

通信、放送、金融、航空、鉄道、電力、ガス、上水道、物流、クレジット、行政サービス（地方公共団体）、下水道、空港、道路・海上・航空交通管制、緊急通報、気象・災害情報、出入国管理、高速道路、熱供給、バス、警備、旅行、病院、会場

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
対象：東京23区エリアの事業者等（19分野）	東京圏（1都3県）の事業者等（20分野）	全競技会場周辺（1都1道7県）の事業者等（20分野） +会場管理者	全競技会場周辺（1都1道8県）の事業者等（22分野） +会場管理者	全競技会場周辺（1都1道8県）の事業者等（23分野） +会場管理者

○ NISCが想定する『「事業・重要サービス・経営資源（情報資産）」のモデルケース（重要サービス分野ごと）』、『業務の阻害につながる事象の結果、結果を生じ得る事象（脅威）及びリスク源』を作成、各事業者等へ経営資源、リスク源等の洗い出しの漏れの可能性をフィードバックすることによって、より網羅的なリスクアセスメントの実施を促進

○ サイバーセキュリティ対策の運用状況について、NISCからフィードバックを実施し、必要に応じて助言を実施

● 横断的リスク評価の取組

重要サービス事業者等において想定されるサイバーセキュリティリスクに基づき、サイバーセキュリティ対策の実施状況をNISCが検証する。

これにより、大会の成功にとって重要な機能が継続して提供されることを確認するとともに、不備があった場合は、重要サービス事業者等へフィードバックすることにより、当該重要な機能が継続して提供されることの確からしさを向上させる。

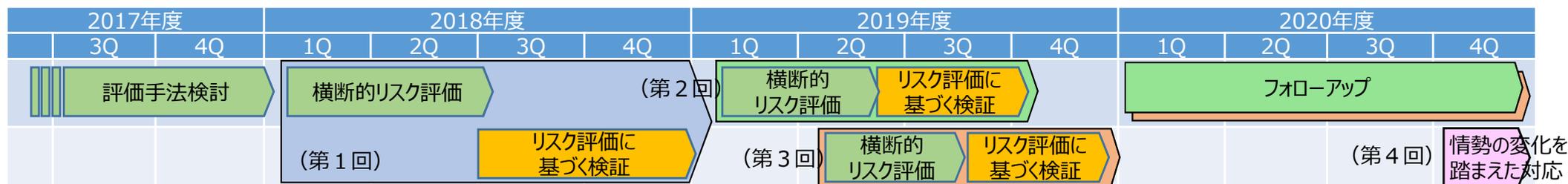
○ 大会に関わるリスクが顕在化するシナリオをリスクシナリオとして策定・活用し、重要サービス事業者等が設定したルールの妥当性や実効性について検証

○ 第1回の取組においては、電力、通信、水道、鉄道、放送等5者程度を対象に実地検証。全重要サービス分野から20者程度を対象に書面検証

○ 第2回及び第3回の取組においては、重要サービス事業者等（会場（レガシー部分）を含む。）を対象に検証（実地又は書面）

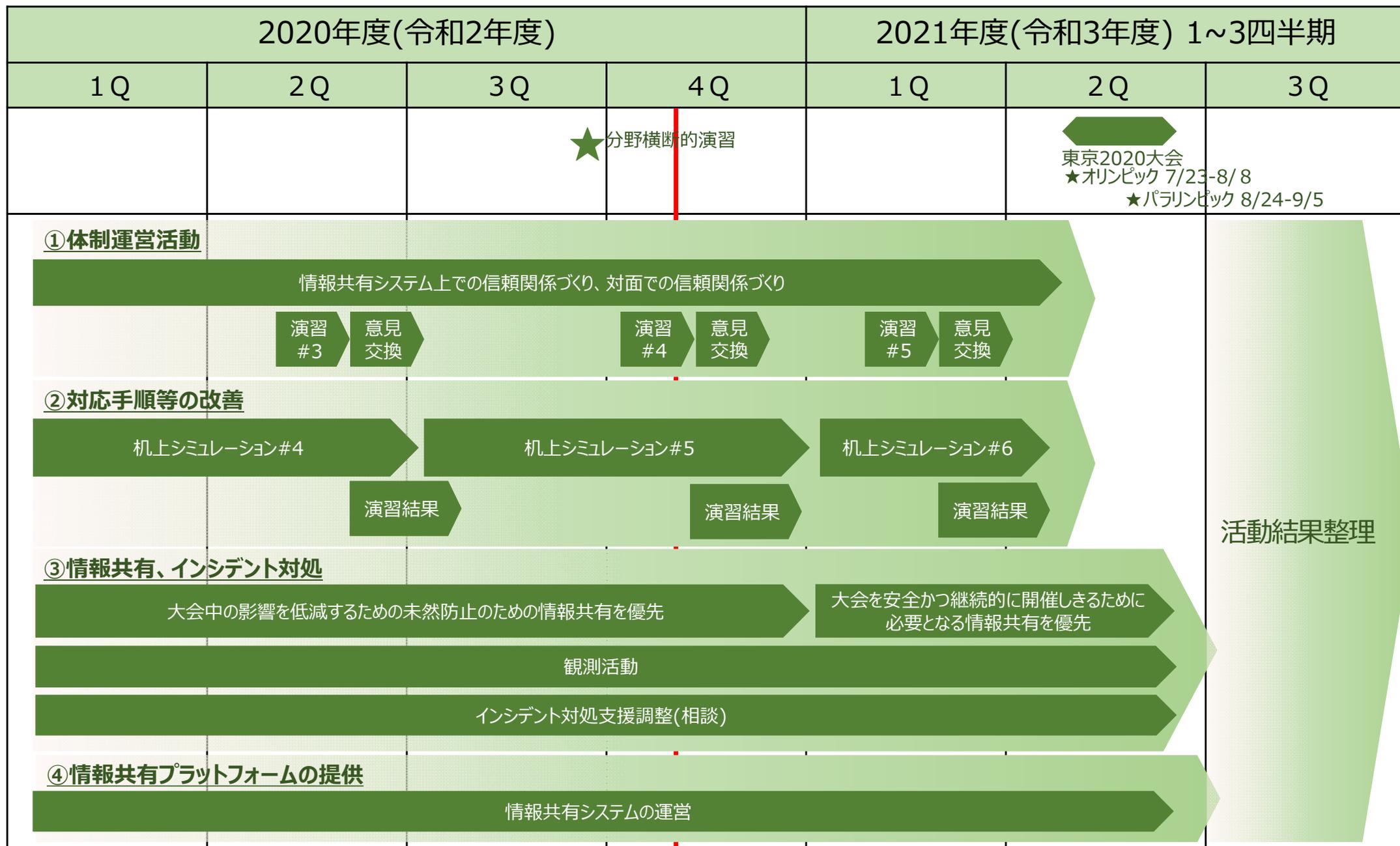
なお、会場のオーバーレイ部分の対策の整備状況及び監督状況については、組織委を対象に実地検証

○ 2020年度においては、第4回の取組として、コロナウイルス感染症の感染拡大等の情勢変化を踏まえた対応を実施予定



対処態勢の整備 (サイバーセキュリティ対処調整センターの活動予定)

2021年度の東京2020大会に向けて、「体制運営活動」「対応手順等の改善」「情報共有・インシデント対処」「情報共有プラットフォームの提供」を継続及び改善し、大会の対処態勢を万全なものとしていく。



リスクマネジメントの促進

※第6回の実施組織数は集計作業中につき見込み数

○ **実施組織数**

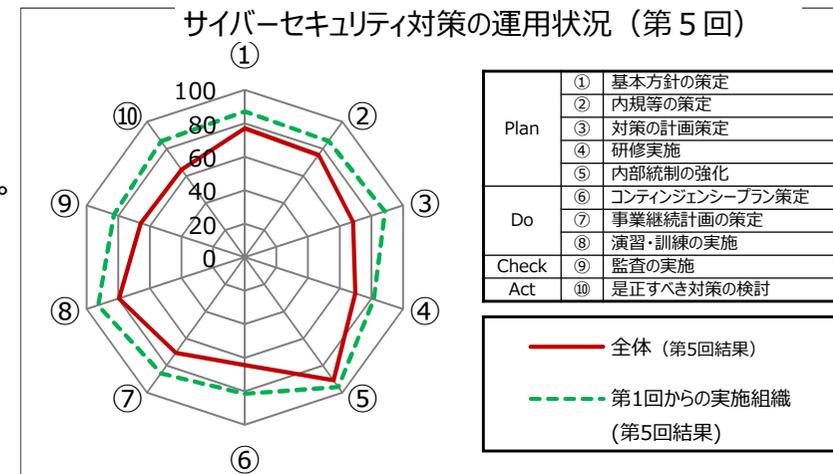
第1回 75組織 → 第2回 115組織 → 第3回 191組織 → 第4回 273組織 → 第5回 279組織 → 第6回 280組織程度※
 (2016年10-12月) (2017年8-10月) (2018年6-8月) (2019年2-4月) (2019年9-12月) (2020年11-2021年1月)

○ **説明会の実施状況**

10都道府県において53回開催し、のべ約2,000名が参加。

○ **サイバーセキュリティ対策の運用状況**

- ・ リスクアセスメントの回数を重ねるにつれて対策の実施状況が改善されている様子を確認(右図)。
- ・ 特に、第1回からの実施組織は、各回の取組を経て、自組織等における演習・訓練に取り組むことで、大会本番に備えているとともに、是正すべき対策の検討を進めていることがうかがえる。



○ **スポーツ関連団体向け勉強会の実施状況**

15回開催し、のべ約500名が参加。

対処態勢の整備 (サイバーセキュリティ対処調整センターの構築等)

○ **情報共有体制への参加状況**

参加組織数 357組織
 (内訳 重要サービス事業者 152/スポンサー 39/スポーツ関連団体 67/関係省庁等 30/他 69)
 参加者数 2,100名

○ **大会に向けた演習訓練への参加状況 (これまでに3回開催)**

延べ参加組織数 397組織 (内訳 第1回140/第2回 149/第3回 108)

○ **脅威情報の提供状況 (2019年4月～)**

累積提供数 1,458件 (内訳 対処調整センター 797件/協力ベンダー等 661件(右図))

○ **情報共有システム(JISP)の利用状況**

累積のログイン数 14.5万、参照数 34.1万、投稿数 0.6万、コメント数 2.0万
 (月平均 ログイン数 6,885、参照数 16,241、投稿数 270、コメント数 943)

